

RANULPH FIENNES

“World’s Greatest Living Explorer”

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Adventure
- Author
- Explorer
- Motivation

1984年に、ギネスブックは「ラヌルフフィエンヌ卿」を「世界で最も偉大な生きている探検家」と述べました。

彼の世界中での探検は1979 - 82年のTransglobe（世界の極軸の周りの世界初の表面の旅）を含みます。1986年、北極圏の未支援の探検隊（最も北の未支援の記録）。アングロソビエト北極探検隊1990/91; Ubar Expedition（1991年には、世界でも有数のフランキンセンスの中心地であるPtolomyの失われていたAtlantis of the Sandsを発見した）の共同リーダー。1992/93年のペントランド南極探検隊のリーダー（南極大陸の最初の支持されていない交差と歴史の中で最も長い支持されていない極旅行を達成した）。

彼は1970年にオマーンの勇敢なメダルのスルタン、1983年にニューヨークメダルのエクスポアーズクラブ、1983年にロイヤルスコットランド地理協会のリヴィングストーンゴールドメダル、1984年にロイヤル地理協会の創設者のメダルを授与され、そして彼と彼の後期妻は両方とも受け取りました1987年の極メダル。

1993年に彼は「人間の努力と慈善事業」のためのOBEを授与されました。

今日までに、ラヌルフ卿は、彼の遠征を通して、英国の慈善団体のために1420万ポンド以上を集めました。彼は両極を含む世界の遠隔地に22の主要な遠征を導いた。

大規模な心臓発作と二重バイパス手術を受けたわずか3ヵ月半後の2003年、彼は7日間で7つの大陸で7つのマラソンを走りました。

2004年に彼は国際ノースポールマラソンで2番目に来ました、そして、2005年に、彼はブリティッシュハート財団の新しい研究MRIスキャナーのためのエベレストサミットリッジの300メートル以内に彼の上昇を通して200万ポンドを集めました。2007年3月、彼はNorth Face of the Eigerに登り、Marie Curie Cancer Careが提供するChoice Programのために180万ポンドを調達しました。また、2007年にはITVのGreatest Britons 2007 Sport Awardを受賞し、2008年5月には、サミットから400m以内にエベレスト（ネパール側）に登りました。2009年5月、彼はエベレストを首尾よく召喚し、Marie Curie Cancer Careのために約300万ポンドを調達しました。

彼はThe Feather Menを含む18冊の本の著者であり、イギリスのNo.1ベストセラーで、2011年にはKiller Eliteと呼ばれる主要な映画としてリリースされました。彼の最新の自伝Mad Bad Dangerous to Know 2007彼の最新の著書My Heroesは2011年に出版され、普通の個人がSir Ranulphの偉大な英雄になったことをもたらした並外れた、しばしば恐ろしい出来事について説明しています。

自然の最も危険で困難な課題と非常に現実的な日常業務の課題との間の類似性を引き出すことによってSir Ranulphは非常に個人的なレベルで観客の各個人を巻き込みます。遠征の成功に欠かせない要素には、チームワーク、決意、忍耐力、しつけ、熱意および創造的思考が含まれます。正しい性格と態度でチームを築く

ことが最も重要です。持続性、忍耐力、計画力、高い組織能力、予期せぬ障害に立ち向かうための柔軟性、目標設定、そして極度のプレッシャーの下でのパフォーマンスは、明らかにSir Ranulphの驚くべき努力の成功の要因です。ビジネスの世界で成功するためには、同じ資質がすべて不可欠です。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988